

## 放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

## 概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

## これまでの進捗

2月28日時点

項目	2020年度 2月分	2020年度 累計	
<b>■相談員支援センター</b> (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	1	5
	専門家派遣	0	5
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	6	36
	車座意見交換会	1	11
<b>■環境再生プラザ</b> (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	6	31
	小中学校など	1	37
	その他	0	8
・移動展示	5 (5日)	45 (77日)	
<b>■その他</b> (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・個人線量測定 (WBC)の支援	0	48	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	18	151	

(リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

◆研修会

- ・2/24 双葉町

◆住民セミナー

- ・2/25 福島市立福島第一小学校（1学年）
- ・2/25 郡山市立行健小学校（4学年1組、3組）
- ・2/26 郡山市立行健小学校（4学年2組、4組）
- ・2/26 川俣町



福島第一小学校では、放射線について紙芝居を使った授業を行いました



行健小学校では、「放射線って知ってる？」をテーマに専門家による授業を行いました



◆車座意見交換会

- ・2/25 双葉町

(環境再生プラザ実施分)

◆専門家派遣 ※オンライン

〈自治体など〉

- ・2/8 泉崎村事業課
- ・2/4 広野町環境防災課
- ・2/25 いわき市除染対策課
- ・2/26 広野町環境防災課

〈小中学校など〉

- ・2/18 福島市立平石小学校（3～6学年）※

◆移動展示

- ・2/18 福島市立平石小学校（1,2学年）
- ・2/19 福島市立鳥川小学校（3学年）
- ・2/24 福島市立福島第一小学校（2学年）
- ・2/26 福島市立鳥川小学校（1学年）
- ・2/28 大熊町聞き書き活動「町の記憶を未来に伝える」（リプルンふくしま）

(菊池製作所実施分)

◆ガンマカメラ



ガンマカメラでの撮影風景

ガンマカメラとは：特定の場所の放射線量の高低を色分けして着色することで、線量を可視化することができる特殊なカメラです

